



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 コーユーレンティア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7081 URL <https://www.koyou.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅木 孝治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 渡部 泰行 TEL 03-5931-4203
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	11,734	—	868	—	856	—	438	—
2019年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 434百万円 (—%) 2019年12月期第2四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	84.39	84.16
2019年12月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2019年12月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2020年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	13,890	5,387	38.8
2019年12月期	14,612	3,386	23.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 5,386百万円 2019年12月期 3,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△6.5	1,200	△18.7	1,180	△16.8	660	△35.2	124.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	5,400,300株	2019年12月期	4,500,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	一株	2019年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	5,199,637株	2019年12月期2Q	一株

(注) 当社は、2019年12月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第2四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は2020年8月26日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算補足説明資料は、後日、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。なお、当社は、前第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較は行っていません。

（1）経営成績に関する説明

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円、銭)
当第2四半期連結累計期間	11,734	868	856	438	84.39

当第2四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた緊急事態宣言が発令され、外出自粛や各種イベントの開催自粛など個人消費が停滞するとともに、企業の生産活動が減少するなど経済活動が停滞いたしました。6月中旬以降は経済活動も段階的に再開しておりますが、第2波に対する懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。こうした中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、主にイベント市場において開催自粛に伴う需要が減少した反面、企業の感染防止対策やテレワーク拡大に伴うレンタルニーズの高まりに対して積極的に提案してまいりました。当社グループ全体では幅広い業種のお客様と取引しており、新型コロナウイルス感染症の当社グループへ与える影響は軽微なものにとどまり、業績は堅調に推移してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,734百万円、営業利益は868百万円、経常利益は856百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は438百万円となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	レンタル関連 事業	スペース デザイン事業	物販事業	計		
外部顧客への 売上高	7,774	2,238	1,721	11,734	—	11,734
セグメント 利益	677	109	77	864	4	868

（レンタル関連事業）

レンタル関連事業におきましては、建設現場向け市場において、FF&EレンタルのほかICT商品と付帯するサービスなど包括的な提案を行うとともに、再生可能エネルギーを活用した商品の拡販に注力し新規受注の獲得に努めてまいりました。イベント向け市場においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う政府・自治体からの各種イベント自粛要請により、スポーツイベントや興行イベントを中心に開催が中止になるなど厳しい市場環境となっております。一方、オフィス市場においてはイベント向け市場と同様、予定していた案件のキャンセルが発生したものの影響は限定的であり、テレワークの推進やサテライトオフィスの設置など企業の感染予防対策における新たな需要が拡大する中、これらに対し積極的に営業活動を行ってまいりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は7,774百万円となりました。また、セグメント利益は677百万円となりました。

（スペースデザイン事業）

スペースデザイン事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、首都圏分譲マンション市場における2020年1月から6月の供給戸数が1万戸を下回り、前年同期比44.2%減少と過去最少の供給戸数となるなど市場環境は悪化傾向にあります（株不動産経済研究所調べ）。このような市場環境の中、販売センター建築やモデルルームコーディネートなど予定していた案件が延期されましたが、関西圏でのマンション入居者向け家具等販売において売上の拡大を図ることができました。

この結果、当事業セグメントの売上高は2,238百万円となりました。また、セグメント利益は109百万円となりました。

（物販事業）

物販事業におきましては、各官公庁や郵政関連施設において予定していたオフィス家具販売案件において、順調に受注を積み重ねることが出来ました。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う感染予防対策商品の需要が拡大し、それらに対して積極的に提案活動を行ってまいりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は1,721百万円となりました。また、セグメント利益は77百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ722百万円減少の13,890百万円となりました。

（流動資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べ935百万円減少の5,718百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が442百万円、現金及び預金が249百万円、前払費用が223百万円減少したこと等によるものであります。

（固定資産）

固定資産は前連結会計年度末に比べ213百万円増加の8,171百万円となりました。これは主に、賃貸用備品が273百万円増加したこと等によるものであります。

（負債の部）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,722百万円減少の8,503百万円となりました。

（流動負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べ2,312百万円減少の6,282百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,368百万円、短期借入金が700百万円、前受金が153百万円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

固定負債は前連結会計年度末に比べ409百万円減少の2,220百万円となりました。これは主に、長期借入金が410百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産の部）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,000百万円増加の5,387百万円となりました。これは主に、当社普通株式の東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）への上場に伴う新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ782百万円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が438百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて249百万円減少し、1,665百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は389百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益856百万円、非資金支出費用である減価償却費685百万円、売上債権の減少533百万円等により資金が増加した一方で、仕入債務の減少1,317百万円、法人税等の支払額143百万円、未払消費税等の減少110百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は915百万円となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出901百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は276百万円となりました。主な要因は、短期借入金の純減少額700百万円、長期借入金の返済による支出410百万円、リース債務の返済による支出179百万円により資金が減少した一方で、株式の発行による収入1,565百万円により資金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年7月29日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,915,093	1,665,961
受取手形及び売掛金	3,128,309	2,685,841
電子記録債権	564,871	473,828
商品及び製品	56,283	83,223
仕掛品	95,973	81,398
貯蔵品	27,971	52,282
前払費用	587,756	364,327
未収入金	261,434	292,547
その他	22,893	24,938
貸倒引当金	△6,190	△5,390
流動資産合計	6,654,397	5,718,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,181,970	1,163,992
機械装置及び運搬具（純額）	5,149	4,241
工具、器具及び備品（純額）	37,912	36,859
賃貸用備品（純額）	1,580,808	1,854,572
土地	3,785,871	3,785,871
リース資産（純額）	225,518	345,941
有形固定資産合計	6,817,230	7,191,479
無形固定資産		
ソフトウェア	94,680	104,245
その他	17,630	17,630
無形固定資産合計	112,310	121,876
投資その他の資産		
差入保証金	493,120	493,017
投資有価証券	113,070	107,240
繰延税金資産	325,701	147,308
その他	97,640	111,248
貸倒引当金	△854	△901
投資その他の資産合計	1,028,678	857,913
固定資産合計	7,958,219	8,171,268
資産合計	14,612,617	13,890,228

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,981,316	1,613,075
電子記録債務	865,974	916,500
短期借入金	1,700,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	820,004	820,004
未払金及び未払費用	550,143	572,047
未払法人税等	182,668	254,516
未払消費税等	228,003	101,408
前受金	381,059	227,268
預り金	133,220	63,756
リース債務	323,659	359,061
賞与引当金	413,879	354,056
その他	15,111	527
流動負債合計	8,595,041	6,282,221
固定負債		
長期借入金	1,309,986	899,984
リース債務	1,035,718	1,021,502
役員退職慰労引当金	86,548	98,858
資産除去債務	197,667	199,713
その他	822	908
固定負債合計	2,630,742	2,220,966
負債合計	11,225,784	8,503,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	872,720
資本剰余金	136,877	919,597
利益剰余金	3,129,191	3,568,011
株主資本合計	3,356,068	5,360,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,752	25,697
その他の包括利益累計額合計	29,752	25,697
新株予約権	1,012	1,012
純資産合計	3,386,832	5,387,039
負債純資産合計	14,612,617	13,890,228

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）
売上高	11,734,198
売上原価	7,404,613
売上総利益	4,329,585
販売費及び一般管理費	3,460,634
営業利益	868,950
営業外収益	
受取利息及び配当金	3,457
受取保険金	3,603
その他	8,751
営業外収益合計	15,812
営業外費用	
支払利息	24,999
支払手数料	2,457
その他	495
営業外費用合計	27,952
経常利益	856,811
特別損失	
固定資産除却損	691
特別損失合計	691
税金等調整前四半期純利益	856,119
法人税、住民税及び事業税	237,130
法人税等調整額	180,169
法人税等合計	417,299
四半期純利益	438,819
親会社株主に帰属する四半期純利益	438,819

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	438,819
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△4,054
その他の包括利益合計	△4,054
四半期包括利益	434,765
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	434,765

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	856,119
減価償却費	685,860
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	12,310
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△753
賞与引当金の増減額（△は減少）	△59,823
受取利息及び受取配当金	△3,457
支払利息	24,999
有形及び無形固定資産除却損	691
売上債権の増減額（△は増加）	533,464
たな卸資産の増減額（△は増加）	△36,675
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,317,715
未払金の増減額（△は減少）	6,334
未払消費税等の増減額（△は減少）	△110,364
その他	△36,984
小計	554,007
利息及び配当金の受取額	3,457
利息の支払額	△24,490
法人税等の支払額	△143,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	389,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△901,444
保険積立金の積立による支出	△13,561
投資活動によるキャッシュ・フロー	△915,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△700,000
長期借入金の返済による支出	△410,002
リース債務の返済による支出	△179,293
株式の発行による収入	1,565,441
財務活動によるキャッシュ・フロー	276,146
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△249,132
現金及び現金同等物の期首残高	1,915,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,665,961

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2020年2月7日に東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場いたしました。上場にあたり、2020年2月6日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行800,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ695,520千円増加しております。

また、2020年3月9日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式の発行100,300株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ87,200千円増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における資本金は872,720千円、資本剰余金は919,597千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	レンタル関連 事業	スペース デザイン事業	物販事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,774,440	2,238,021	1,721,736	11,734,198	—	11,734,198
セグメント間の内部売上 高又は振替高	349,865	3,273	11,376	364,515	△364,515	—
計	8,124,305	2,241,295	1,733,112	12,098,714	△364,515	11,734,198
セグメント利益	677,112	109,092	77,983	864,189	4,760	868,950

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。